



受付第06A3439号
受付日：平成19年 2月 9日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成19年 3月 8日

財団法人 建築試験センター
中央試験所長 勝 七 郎
埼玉県草加市稲荷 20号



試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名 称：木造建築用柱脚仕口金物 商 品 名：コンパクトコーナー床合板仕様 用 途：柱脚の仕口に使用する金物（中柱型） 寸 法：60×27×28mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材 質：SGHC Z27（JIS G 3302） 2. 接 合 具 柱側木ねじ：TB-55，3本使用 長さ；57.4mm，ねじ部の長さ；51mm，ねじ部の外径；6.2mm 谷の径；4.0mm，ねじ山のピッチ；3.18mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH2A（JIS G 3507-2），表面処理；ダクロタイズド処理 横架材側木ねじ：TB-101D，2本使用 長さ；100mm，ねじ部の長さ；80mm，ねじ部の外径；6.1mm 谷の径；4.1mm，ねじ山のピッチ；3mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH2A，表面処理；ダクロタイズド処理 3. 使用軸組等 柱及び横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参 照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(Pot)：6.7kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
試験期間	平成19年 2月19日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 高 橋 慶 太 ， 林 崎 正 伸
試験場所	中央試験所